

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 身体障害者自動車燃料費助成事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障害者福祉の確立
小分類	3	障害者の社会参加の促進
主要な施策	1	障害者団体の自主的活動支援
事務事業番号	006	事務事業コード 13331006 事業開始年度 昭和 5 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	身体障害者自動車燃料費助成金
------	------	------------	----------------

部 名	保健福祉部	グループ名	障害福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 身体障害者福祉法に基づく車椅子受給者又は、その者と生計を一にする者で、自動車免税購入資格者として自動車を購入した者
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 自家用自動車燃料費の税相当分を1月につき30リットルまで助成して支援する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 身体障がい者の自立更生と社会参加促進及び経済的負担の軽減を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市身体障害者自動車燃料費助成事業実施要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	助成件数	件	目標値	28	28	30	30	30
			実績値	27				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	483	562	582	582	582	1,746
合 計				483	562	582	582	582	1,746
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	79	83			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		79	83			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
身体障がい者の自立更生と社会参加促進に必要な事業であり、市が行うことは妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
社会参加等に係る移動経費の助成を図ることにより、引きこもり等の障がい者の自立更生に寄与している。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
啓発等により、利用者の拡大を図ることにより向上させることができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
社会参加や障がい者の自立した地域生活を支援する必要があり、その活動経費の一部助成であることからコスト削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	在宅身体障がい者の生活圏拡大と経済的負担軽減が図られることから、在宅障がい者（児）の自立更生等に必要なお事業である。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）